

令和8年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	46	学校名(課程)	茅野 高等学校(全日制)
------	----	---------	--------------

1 全体目標

○ 社会的・職業的な自立の基礎・基盤となる力を育成し、進路の実現につなげる。

2 現状・課題

地域資源を積極的に活用し、小中学校との交流、福祉保育施設や地元企業と連携した学習・就業体験等、特に2年次に行う「デュアルシステム」(総合的な探究の時間)により、生徒自らが将来は良き担い手として地域を支えたいと卒業後の将来を描けるような取り組みを推進していけるかが課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。
学校で言い換えた力でもよい。

- a 自己の在り方、生き方を考え、将来設計に取り組む意識と力
b 卒業後の進路に興味を持ち、選択し、それを実現できる力
c 社会的・職業的な自立に必要な基礎力【基礎的・汎用的能力】
c1 コミュニケーション力 c2 自他の理解力 c3 勤労と社会奉仕の力 c4 課題対応能力

4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 日頃の教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と職員で捉える。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 各取組の繋がりを意識した指導をし、年度末にそれぞれの取組を経ることで、生徒が進路意識や社会意識ができた実感を持てるようにする。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	ウ 講演会や就業体験活動は事前・事後指導を充実させる。特に振り返りと身についた力(汎用的能力)の確認を徹底する。
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い次年度の取組や指導に生かす。 オ 教科授業を通じ、社会や世界の様々な現実、人間の生き方について考えさせる。 カ 知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力を育成する。 キ 地域社会、産業界、OBの力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・内容を身近なことやものと関連付 ・新聞等で生活や生き方に関する多様な話題の文章を提供し読ませる。 ・レポートの書き方指導<1年> ・履歴書、志望動機文章等の作成方法指導<2年>
総合的な探究の時間	・福祉体験活動(全員)<1年> ・キャリア・カウンセリング(全員)<1年> ・出前福祉教室<1年> ・長期インターンシップ(全員)<2年>
特別活動	・グループエンカウンター(全員)<1年> ・人間としての在り方、生き方を考えるための講演会、ワークショップ、SST ・小論文指導<2年> ・進学・就職先に合わせた個別の教員面接・学習指導<3年>
校外の体験活動(就業体験活動等)	・福祉体験活動(全員)<1年> ・長期インターンシップ(全員)<2年> ・福祉施設実習<3年> ・ボランティア ・オープンキャンパス参加(希望者)<1. 2. 3年>
地域や産業界等との連携	・キャリア・カウンセリング ・茅野高フォーラム(地域へ探求学習の発表会・意見討論会) ・各種体験学習(事前、事後指導も含む)
評価	・生徒・教員アンケート、面接等で生徒の姿容とキャリア教育の取り組みを評価し、次年度の改善に反映 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・学校説明会で高校のキャリア教育を説明 ・近隣学校のキャリア教育担当者との情報交換会の開催
校内の推進体制	・キャリア教育推進委員及び進路指導部と学年担任団の緊密な連携 ・学校活動全てをキャリア教育の機会と捉えて、全教員で推進

キャリア・パスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を用いて話し合い、意思決定を行うなどの学習過程を重視した学習活動の実施。 ・生徒理解を深めるための記録を用いた面談の実施。
---------------	---

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自己を知る、社会を知る ○進路を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の在り方、生き方を探る ○働くことについて考える ○進路を選択する 	<ul style="list-style-type: none"> ○将来目標・志を立てる ○就きたい職業を考える ○進路実現をめざす
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活への適応、仲間づくり ○福祉体験(総合的な探究の時間、事後発表会) ○進路研究と2年次のコース選択 	<ul style="list-style-type: none"> ○校外施設実習体験(総合的な探究の時間、事後発表会) ○具体的な進路研究 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化 ○文化祭その他における汎用力実践
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・面接 ・教員アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員アンケート ・進路状況

年間指導計画と各取組の関連 *就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教科	総合的な探究の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1年	4 シラバス説明 情報【集中授業】文章入力の基礎 国語「レポートの書き方」 7 国語「小説を通じ、職業等幅広く社会について考える。」	自己紹介文(進路実現を見すえて) 出前福祉教室 レポート作成	グループ・エンカウンター 進路調査 進学研究①、職業研究① 《キャリア・カウンセリングⅠ》 ボランティア活動、看護体験、介護福祉体験(希望者) オープンキャンパス参加(希望者)	生徒意識調査、面接 面接
	夏休			
	9 情報【集中授業】表計算の基礎 家庭「家事における性別分業のあり方」 12	事前指導 □福祉体験活動(全員) 事後指導・レポート作成 企業ガイダンス	《キャリア・カウンセリングⅡ》 進学研究②、職業研究② 進路調査	面接 三者面談
	1 情報【集中授業】プレゼンテーションの基礎 3	○茅野高フオーラム (就業体験発表会)		生徒意識調査(県教委) 面接、教員アンケート
	春休	1年間の活動のまとめ、2年次の展望	オープンキャンパス参加(希望者)	年間評価、次年度の計画
2年	4 家庭「初任給額を知る 支出の在り方を考える」 7	デュアルシステム 長期インターンシップ(全員)	進学研究③、職業研究③ 進路調査	面接
	夏休		オープンキャンパス参加(希望者) ボランティア活動、看護体験、介護福祉体験(希望者)	面接
	9		進学研究④、職業研究④ 進路調査 3年次コース選択科目選択 進学研究⑤、職業研究⑤ 修学旅行	面接 三者面談
	12 1 国語「小論文の書き方」 3	○茅野高フオーラム (デュアル実習体験発表会)	進学研究⑥、職業研究⑥	生徒意識調査(県教委) 面接、教員アンケート
	春休	1年間の活動のまとめ、3年次の展望	個別就業体験(希望者) オープンキャンパス参加(希望者)	年間評価、次年度の計画
3年	4 国語「小論文の書き方」 7	進路別説明会① 6月 進路別説明会② 7月	進学研究⑦、職業研究⑦ 《文化祭(実践)》	面接 就職・進学指導 三者面談
	夏休		夏期補習・進学者個別面接指導 オープンキャンパス参加(希望者)	
	9		進学研究⑧、職業研究⑧	
	12 1 3	○茅野高フオーラム (就職内定者・進学合格者体験発表)	進学者学力補充講座・個別指導 労働出前講座	生徒意識調査(県教委) 教員アンケート、進路状況 まとめ、3年間の評価